

Satsumasendai City Public Relations

薩摩川内

広報



さつませんだい

6

June.2022
vol.424

田の神とともに



薩摩川内市が
LINE
はじめたってよ。



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら





田植えの時期が到来しています。本市でもあちこちで田植えの風景が見られます。そんな風景を見ながら時々目にするのは、道端に佇む田の神。豊作をもたらす田の神の信仰は全国にありますが、実は具体的な姿は不明なことが多いようで、石像として見られるのは、九州地方南部の薩摩、大隅、日向の一部に限られるそうです。なぜ、鹿児島や宮崎だけに田の神はいるの？人々の暮らしにどう関わって来たの？



田の神像



「タノカンサア」「タノカンドン」などと呼ばれ親しまれている田の神は、稲を守り、豊穣をもたらす神です。鹿児島県と宮崎県の一部で田の神像が造られるようになったのは、江戸時代の頃からのことだそうです。薩摩藩内での水田の開拓作業が始められたことや、この頃に仏像や神像を石造することが流行したこと、また僧侶や山伏による指導があったことなどが、この時期から造られるようになった理由だと考えられています。田の神像の形体や像型については、研究者によりその分類方法や型の名称に違いが見られます。所崎平氏「南九州の田の神石像」(ひむか歴史ロマン街道形成推進事業調査報告書『田の神さあ』所収)によると、それらの分類を大まかに対比し分けると神官型(神像型)と地藏型(仏像型)、農民型(田の神舞型)、女子像型(女人型)とに分かれるそうです。その他にも、独特な一石双体像や自然石の田の神が多く見られます。

田の神講



田の神講は「タノカンコ」と呼ばれ、春は耕作の始まる前の旧暦2月に豊作を祈願して、また秋の収穫後の旧暦10・11月には感謝を表すため、近隣の農家が集い講組を作り、餅をつけてフラット(※)に入れたものを田の神に供える行事です。地域によっては、田の神像に化粧をする所もあるそうです。回数は秋のみに行うか、春と秋に2回行うかなど地域によってさまざま。

春と秋の2回行う理由の一つに、南九州では山の神が田の神になるという信仰伝承が関連していると考えられています。旧暦2月の丑の日、山の神は山から田に下りてきて田の神となり、旧暦10月の亥の日もしくは旧暦11月の丑の日に田の神は山に上がり、再び山の神になると伝えられているため、その日に講が行われるのではないかと。座元の家には人々が集い、酒を飲んで食事をする楽しみも講には含まれていたようです。

※フラット＝わらで作った包みのこと

田の神オットイ



田の神の風習として、「田の神オットイ」というものもあります。「オットイ」という言葉は「盗む」ことを指していますが、実際は借りてくるというようなものです。これは豊作の続く地域や田の神を持つ地域から田の神を盗んできて自分たちの地域に田の神を据えて祭り、豊作に導いてもらうというものです。盗まれることを田の神は好み、盗んできた集落は豊作に恵まれると伝えられています。

一般的に田の神を盗むときは、村人が田の神に代わり書き置きを残して村を出て行きます。数年後、田の神は元あった地域に返すことがほとんどですが、中にはそのままのものも多かったようで、人に見つからないように山中に隠したり、盗まれないよう大きな像を造るなどしました。市内各地においても、それらが関係しているのか、田の神像の刻銘から他の地域のものと考えられるものや磨崖に田の神を陰刻したものなどが見受けられるそう。

本市の祁答院町蘭牟田地区では、一部で「これが本来の姿ではないか」と考えられている田の神戻しという行事が伝承されています。

また、「伊佐の田之神さあ」(伊佐市郷土史誌編さん委員会編集)によると、17世紀から18世紀にかけて、薩摩藩内にサツマイモが渡来普及しました。

そのため生活に余裕が生じ、豊作祈願だけでなく、宗教的な信仰を求め、五穀豊穣および家内安全・子孫繁栄を祈願するものとして、身近なところで田の神の建立に繋がっていったのではないかと考えもあるそうです。さまざまなことが制限されていた時代、農民たちが田の神を集落ごとに祭って豊作と子孫繁栄を祈願し、焼酎を飲み、歌って踊って楽しく過ごすことには、藩の役人たちも豊作を祈願していることなので厳しく取り締まることができず、この出来事がのちに田の神講という行事へと発展していったのではないかと考えられています。



田の神戻し



田の神は田の水口など屋外に置かれるものと、屋内に置かれるものがあり、屋内に置かれるものは、「回り田の神」と言っており、田の神講の座元の家を一年交替で回っていくのが通常で、この蘭牟田地区の「田の神戻し」はその宿替えの行事になります。例年では4月10日に行われ、地元では、田の神は子孫繁栄、無病息災、五穀豊穣の神として信仰されてきました。





燃ゆる感動 かがしま国体

特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2023

国体通信 vol.3

太陽国体 当時を振り返る

昭和47年(1972年)「明るく たくましく うるわしく」をスローガンとして、鹿児島県で太陽国体(第27回国民体育大会)が開催されました。旧川内市ではバスケットボール、旧樋脇町ではホッケー競技が行われました。太陽国体に関わった方々に当時のお話と2023年燃ゆる感動かがしま国体への思いを伺いました。



開会式での披露後の一枚

中原文博徳さんは、当時、職場の近くで自顕流の稽古をしている人がいたことをきっかけに、ご自分も興味を持って始めたそうです。当時のことは、「薩摩の武道ということ、開会式で自顕流を披露しましたが、緊張していたのか記憶がほとんどありません」と苦笑い。「国体は独特の雰囲気がありますが、普段出せない力も出せると思うので、選手の皆さんには頑張ってもらいたいです」と話してくださいました。

総合開会式で自顕流を披露

中原文博徳さん

当時、県全体で2万人以上が参加した炬火リレー。当時中学3年生だった野島さん。里港から女子中学生が発売し、男子中学生、一般女子、一般男子がリレーをし、旧上甕村へと炬火をみんなでつないだそうです。「令和2年の炬火リレーにも地区代表で応募して、2回目の参加を楽しみにしていました。令和5年の炬火リレーにも参加し、国体を盛り上げたいです」。



炬火リレーを走った野島さんたち

炬火リレーが甕島でも

野島秋彦さん



花いっぱい運動

「当時、小学生だった私は、父が国体事務局の事務局長をしていた関係で、家の近くの緑地にマリーゴールドやサルビア、カンナを植えて文字を書いたり、黄色と赤のハンカチを持って国体ダンスを踊ったりしました。今度のかごしま国体も非常に楽しみで、ぜひ見てみたいとの思いがあります。選手の皆さんには頑張ってもらいたいです」。

父の思い出とともに

宇都晃子さん

当時、太陽国体のポスターに関わった松下さん。「高校時代に旧川内市の国体ポスターデザイン募集があり、自分のデザインが採用されました。その後、市の職員となりスタッフとしても国体に関わることができました。当時は、川内商工高校の会場で通信係として従事していましたが、職員になったばかりの上、日々必死で業務をこなしていたので、当時の記憶がありません(苦笑)。コロナが落ち着いて、無事に開催できるなら今度はゆっくり応援したいです」。



太陽国体ポスター

ポスターが採用されて

松下千秋さん

燃ゆる感動 かがしま国体

特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2023

※観覧自由です。ぜひご覧ください。

燃ゆる感動かがしま国体開催500日前企画展

太陽国体アーカイブ「太陽のこころあの日の想い」

期間：令和4年5月25日(水)～令和4年8月31日(水) 場所：サンアリーナせんだい エントランスホール

令和5年のかがしま国体開催までもう少し。市では1972年に開催された第27回国民体育大会(太陽国体)をテーマとした企画展を開催しています。



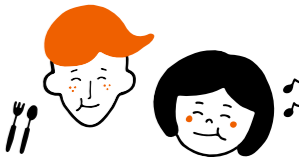
当日は、青壮年部の若い衆が、午前10時頃から集まって、田の神の化粧を直し、竹で編んだかごにヤマブキの花・八重桜・野菜の花などを飾り、小豆を混ぜた餅をわらで編んでくるんだ物と、青竹に焼酎を入れた物を、かごに括りつけます。そして、踊り子が田の神の分身となって女装し、顔にはヘグロ(灰墨)を塗ったり化粧をしたりして、麦わら帽子で覆い、ホラ貝とかねの楽と歌に合わせて踊る、独特の神舞に似た踊りを行います。田の神講における回りの神像の家移りの中でも、祁答院町蘭牟田地区の「田の神戻し」は、花に彩られた美しさにおいて他に類を見ません。

田の神ととも

田の神は奥が深く、まだまだ多くの人が研究・調査の段階ではあるものの、薩摩川内市内で少なくとも300体以上が確認できているようです。それは、共通して田んぼを守り、農作物の豊作をもたらす神として、「五穀豊穡」「田畑守護」などの身近な祈願のよりどころとなっています。「タノカンサア」という名称や石像などにして祭る習慣ができたのは、厳しい年貢米の取り立てにより生活に苦しんだ農民たちが気持ちを少しでも軽くしたいと願ったからではないかと思われています。そんな時代から現代まで風習が残っているのは、その時代の背景に合わせ、農耕の神としてだけでなく、子孫繁栄や無病息災などのささやかな幸せを願ってきたからではないでしょうか。これからも末永く私たちを優しくユーモアあふれた姿で見守り続けてもらうためにもこの文化を後世に引き継いでいきたいものですね。

皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。
問合せ／本庁秘書広報課
企画総務・広聴広報G(内線4122)





問合せ／本庁農業政策課企画総務・六次化G(内線4212)

国の食育推進基本計画で、毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」と定められています。この機会に、命の源「食」について考え、食育に取り組んでみませんか。

食育とは

さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる力を育むことです。

なぜ今「食育」が重要なのか？

近年の食を巡る環境変化の中、生活習慣の乱れからくる糖尿病などの生活習慣病の有病者の増加、若年層の朝食欠食、高齢層の栄養不足、コロナ禍における共食の機会の減少、日本型食生活や伝統的食文化の衰退などさまざまな問題が生じています。

こうした中、食に関する知識を身に付け、健康的な食生活を実践し、心と身体の健康を維持するため、生涯にわたって「食べる力」＝「生きる力」を育む食育が重要となります。

第3次薩摩川内市食育・地産地消推進計画を策定

市では、これまでの計画の検証や最近の「食」を取り巻く環境などを踏まえ「第3次薩摩川内市食育・地産地消推進計画」を策定しました。

今後、本計画に基づき、料理教室やイベントなど、各施策に取り組みしていきます。

なお、本計画は市ホームページ、本庁、各支所、甕島振興局、各地区コミュニティセンターなどで確認できますのでご覧ください。



「地産地消」とは

地域で生産された農林水産物を、その地域で消費することです。

市内の直売所をご紹介します。地元産の安全・安心、新鮮な食材を探しに、お出掛けしてみませんか。

ナスの味付けぽん酢掛け



食は細いがナスは好き。そんな子どもたちを育てた母親の食育エピソード。

私の

薩摩川内風土記

Food記



さこう みき 酒匂 美紀さん

旬を迎えるナスを使った「ナスの味付けぽん酢掛け」を教えてください。食が細かった2人の息子を育てた経験のある酒匂美紀さん。

酒匂さんは子どもの頃、家のお手伝いとして何かできることをしようと考えた時、それは料理だったそうです。「料理を作ると母親がすごく褒めてくれるのがうれしくて。学校の調理実習で作った物をお家でも必ず作るぐらい好きでした」。

結婚・出産を経て、2人の子育てが始まります。どちらも食が細い上に、長男は匂いを確認してから、次男は親が食べるのを見てからでないと食べなかったそうですが、味の好みについては、ナスや抹茶など「渋い物が好きな子どもたち」だったそうです。

そこで、素揚げしたナスをめんつゆで冷やしてそうめんと一緒にしたり、嫌いな物でもナスと一緒に刻んで混ぜてミートソースにしたり、さらにそのミートソースをかけるチーズミートポテトにはジャガイモだけではなく焼いたナスを必ず入れたり。

奮闘のかいあって、だいが食べるようになっていた今から10年以上前、「匂のナスは家にたくさんあるけれど、他に具材がなかった日、主菜みたいになしようとナスを放射状に派手に盛り付け、そこにピーマンとベーコンを乗せてみたら子どもたちが大絶賛。おいしいと言ってたくさん食べてくれました」。

このことをきっかけに、酒匂さんはこのナスの味付けぽん酢掛けを頻りに作るようになりました。

学校から帰ってきて玄関を開けた瞬間「ただいま!今日の弁当すごくおいしかったよ!」と言ってくれる子。

持ち上げ上手な子と思いつつも「おいしいおいしい」と言ってもらえ、さらにもっともおいしいようになるように工夫していきました。

ナスが油を吸い過ぎないように、焼く前にあらかじめオリーブオイルを絡めてみたり、口に入れた瞬間全ての具材を味わえるように、ナスでピーマンやベーコンを巻ける程度の厚さに切ってみたり。

幼い時はあまり食べなかった子どもたちが、中学生になって柔道を習い始めた頃には、給食では毎日おかわりをし、また、肉だけではなく野菜もバランスよく食べてくれるようになっていたそうです。

今では2人とも家を出て社会人として働いていらっしゃるそうですが、酒匂家の思い出の一品となったこの料理は「息子たちのイチ押しだったんです」と語ってくれました。

レシピ

【材料】(約2~3人分)

- ナス: 2本 ●ピーマン: 2個 ●ベーコン: 約40g ●小ネギ: 適量 ●味付けぽん酢: 適量 ●オリーブオイル: 適量

【作り方】

- 1 ナスを厚さ約5mmの縦長に切って、オリーブオイルを絡めておく。
- 2 1をオリーブオイルを引いたフライパンに並べ、ふたをして蒸し焼きにする。途中で裏返し、両面に焼き色が付いたら、大きめのお皿に放射状に盛り付ける。
- 3 フライパンに残ったオリーブオイルでそれぞれ約5mm幅に切ったピーマン、ベーコンを炒める。
- 4 3をナスの中央に盛り付ける。
- 5 味付けぽん酢を回し掛ける。
- 6 小口切りにした小ネギを散らす。

～ワンポイント～

- ・ナスは焼く前に、あらかじめオリーブオイルで絡めておくのがコツ。
- ・食べる時に、ナスで他の具材を巻いて食べると一口で全部味わえておいしい。

皆さんの思い出の料理を大募集

皆さんの思い出の料理とそれにまつわるエピソードなどがありましたら、どしどし情報をお寄せください。取材に伺います。問合せ／秘書広報課企画総務・広聴広報G(内線4121)

市内の直売所MAP



1 漁協直営「川内とれたて市場」

- 所在地 港町6131-23
- 電話番号 (41)3100
- 営業時間 4～9月 10:00～18:00
10～3月 10:00～17:00
- 定休日 毎月第2、4火曜日、12/31～1/4
- 道案内 川内港高速船ターミナル隣

2 薩摩高城館

- 所在地 湯田町1177
- 電話番号 (28)0880
- 営業時間 毎週金・土・日・月 10:00～15:00
- 道案内 肥薩おれんじ鉄道「薩摩高城駅」隣

3 道の駅「樋脇」遊湯館

- 所在地 樋脇町市比野156
- 電話番号 (38)2506
- 営業時間 8:30～18:00
- 定休日 毎月第3水曜日、1/1
- 道案内 県道42号沿い、市比野温泉 入口交差点近く

5 祁答院ロード51

- 所在地 祁答院町下手3754-1
- 電話番号 (55)0851
- 営業時間 8:30～17:00
- 定休日 無し
- 道案内 県道51号沿い祁答院ゴルフクラブ入口

4 おじゃったモールさつま川内館

- 所在地 入来町浦之名7100-1
- 電話番号 (21)4055
- 営業時間 9:00～18:00
- 定休日 毎月第2、第4水曜日、12/31、1/1
- 道案内 入来町日之丸口交差点近く

次のページ「私のFOOD記」では、食育エピソードについてご紹介します。



令和2年度決算に基づく本市の財務書類を作成しました

総務省が示す「統一的な基準」に基づく本市の財務書類

この財務書類は、市が所有する財産・債務・コストなどの状況を把握し、今後の財政運営に役立てることを目的として作成しています。収入・支出の状況だけでなく、市が整備してきた道路などの資産や借入金などの負債の状況、減価償却費などの状況も示しています。財務書類のうち、主に市の業務と関連のある下図の関係団体を含めた「連結財務書類」についてご案内いたします。

用語解説

- ◆資産Ⅱ市が保有する建物や道路などの財産のこと
- ◆負債Ⅱ市が今後支払いを必要とするお金のこと
- ◆純資産Ⅱ資産から負債を除いた金額のこと
- ◆減価償却Ⅱ固定資産の経済的価値が時間の経過や使用によって減少していくことを「減価」といい、定められた耐用年数に応じ、費用を配分して計上する仕組みのこと

令和2年度決算 薩摩川内市の 連結財務書類

令和2年度末における連結後の資産総額は、土地や建物などの有形固定資産の増加などにより、前年度より109億円増の2534億円となっています。また、将来負担しなければならぬ額（負債）も地方債などの固定負債の増加などにより、128億円増の717億円となっています。

一方で、福祉サービスやごみ収集などの資産を形成しない行政サービスの提供に費やした経費（経常経費）は、補助金や社会保障給付などの移転費用の増加などにより、105億円増の983億円となっています。

①連結貸借対照表

借方 資産の部		貸方 負債の部	
固定資産	2,354.1億円	固定負債	641.5億円
有形固定資産	2,248.2億円	地方債など	442.0億円
事業用資産	1,180.0億円	長期未払金	11.0億円
インフラ資産	1,024.5億円	退職手当引当金など	188.5億円
物品	43.7億円	流動負債	75.3億円
無形固定資産	0.9億円	1年以内償還予定地方債など	60.8億円
投資その他の資産	105.0億円	賞与等引当金	6.7億円
基金	88.4億円	未払費用など	7.8億円
出資金など	16.6億円	負債合計	716.8億円
流動資産	180.3億円	純資産の部	
現金預金	75.2億円	固定資産等形成分	2,440.9億円
基金(財政調整基金など)	86.8億円	余剰分(不足分)	△623.3億円
未収金など	18.3億円	純資産合計	1,817.6億円
資産合計	2,534.4億円	負債・純資産合計	2,534.4億円

③連結資金収支計算書 (≒キャッシュフロー計算書)

期首資金残高		68.1億円
業務活動収支(収入-支出)①	53.1億円	
支出(物件費、補助金など)	894.8億円	
収入(市税、国県等補助金など)	947.9億円	
投資活動収支(収入-支出)②	△33.5億円	
支出(公共施設等整備費支出など)	86.0億円	
収入(基金取崩など)	52.5億円	
財務活動収支(収入-支出)③	△12.4億円	
支出(地方債等償還など)	63.9億円	
収入(地方債等発行収入など)	51.5億円	
本年度資金収支額(①+②+③)	7.2億円	
本年度歳計外現金増減額など	△0.1億円	
期末資金残高	75.2億円	

④連結純資産変動計算書

期首純資産残高(令和元年度末残高)		1,836.2億円
純行政コスト(△)	△932.9億円	
財源(税金等、国県等補助金)	908.7億円	
本年度差額	△24.2億円	
無償所管換など	5.6億円	
本年度純資産増減額など	△18.6億円	
期末純資産残高(令和2年度末残高)	1,817.6億円	

②連結行政コスト計算書(≒損益計算書)

経常行政コスト	
業務費用	350.7億円
人件費(職員給与費など)	107.0億円
物件費等(物件費、減価償却費など)	231.8億円
その他の業務費用(支払利息など)	11.9億円
移転費用	632.6億円
補助金など	343.1億円
社会保障給付	279.4億円
その他(補償金など)	10.1億円
経常費用(A)	983.3億円
経常収益	
使用料・手数料	25.2億円
その他(財産貸付収入など)	37.9億円
経常収益(B)	63.1億円
純経常行政コスト(A)-(B)	920.2億円
臨時損失(災害復旧事業費など)	13.0億円
臨時利益	0.3億円
純行政コスト	932.9億円

市民1人あたりでは?

連結貸借対照表

資産	272.2万円	負債	77.0万円
		純資産	195.2万円

連結行政コスト計算書

経常費用	105.6万円	経常収益	6.8万円
		純経常行政コスト	98.8万円

※令和3年3月31日現在人口：93,119人で算定 ※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

連結財務の内訳

薩摩川内市全体

一般会計等

- ・一般会計
- ・天辰第一地区土地区画整理事業特別会計
- ・天辰第二地区土地区画整理事業特別会計
- ・入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計

公営事業会計

- ・水道事業などの公営企業会計
 - ・一般会計等に含まれるものを除く特別会計(国民健康保険事業特別会計など)
- ※公営企業会計の一部の会計は令和2年度決算から連結

一部事務組合

- ・鹿児島県市町村総合事務組合

広域連合

- ・鹿児島県後期高齢者医療広域連合

地方三公社

- ・薩摩川内市土地開発公社

第三セクター

- ・(公財)薩摩川内市民まちづくり公社
- ※出資比率が50%以上の団体・法人

主な財務書類には以下の4つの表があります。

①貸借対照表

年度末において、市がどれほどの資産を保有しているか、また、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表したものです。資産と負債・純資産の左右の釣り合い(バランス)がとれている表であるため「バランスシート」とも呼ばれています。

②行政コスト計算書(≒損益計算書)

一会計期間における行政活動のうち、資産形成につながらない人件費や社会保障などの行政サービスに係る経費(経常費用)と、その行政サービスの直接の対価として得られた施設使用料などの財源(経常収益)を対比させたものです。民間での損益計算書に当たります。

③資金収支計算書(≒キャッシュフロー計算書)

一会計期間における資金の流れを示していて、収支の性質に応じて、人件費や物件費など経常的な行政活動のための収支、学校や道路など、有形固定資産形成のための収支、地方債の償還などに係る収支の3つに区分し、どのような活動に資金が必要とされ、どのように賄われたかを表したものです。

④純資産変動計算書

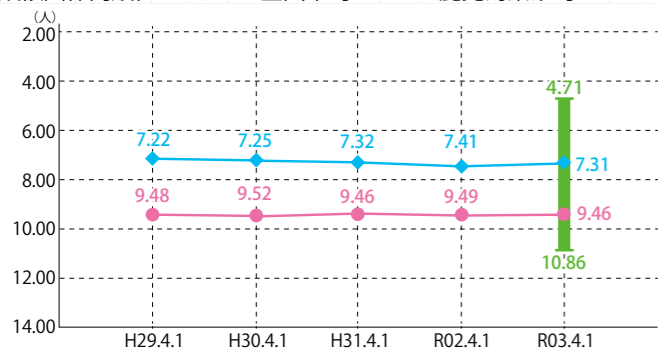
貸借対照表の純資産の部に計上されているものが、一会計期間においてどのように変動したのかを示すものです。純資産とは、資産形成の財源として過去世代の負担や国・県の負担で将来返済する必要のないものをいいます。

問合せ／本庁財政課財政G(内線4732)

④ 定員管理の状況

人口1,000人当たり職員数 [9.46人]

類似団体内順位：72/82 全国平均：8.16 鹿児島県平均：8.90



◎分析と対応

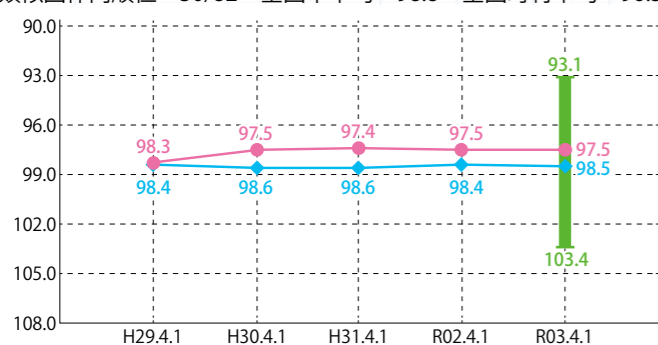
「定員適正化方針」に基づき適正管理に努めてきたことにより、年次的に改善基調にあり、職員数は徐々に減少しています。ただし、本市が島しょ部を含むことおよび面積が広大であることなどの地理的要因と人口が減少傾向にあることから、千人当たりの職員数は依然として類似団体内平均値を2.15人上回っています。

今後においても、必要な行政サービスを持続的かつ安定的に供給し続けられるように、効率的・効果的な行政経営のための業務改革に取り組み、組織体制の見直しなどにより、引き続き職員数の適正管理に取り組んでいきます。

⑤ 給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [97.5]

類似団体内順位：30/82 全国市平均：98.8 全国町村平均：96.3



【ラスパイレス指数】

国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴や経年数別に平均給与月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものです。

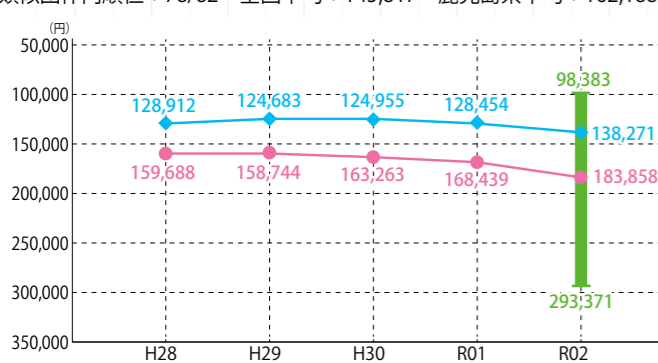
◎分析と対応

前年度と比べて変動はありませんでした。今後においても給与制度などの適正な管理・運用を図っていきます。

⑥ 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [183,858円]

類似団体内順位：78/82 全国平均：145,817 鹿児島県平均：162,188



◎分析と対応

「定員適正化方針」に基づく人件費削減などに取り組んできたものの、人件費や施設の維持管理費などに多くの経費を要したに加え、新型コロナウイルス感染症対応に係る人件費・物件費が増になったことにより、前年度決算額を15,419千円上回っており、また類似団体内平均値を45,587円上回っています。今後においても、「公有財産活用方針」などに基づきさらなるコスト削減を図っていきます。

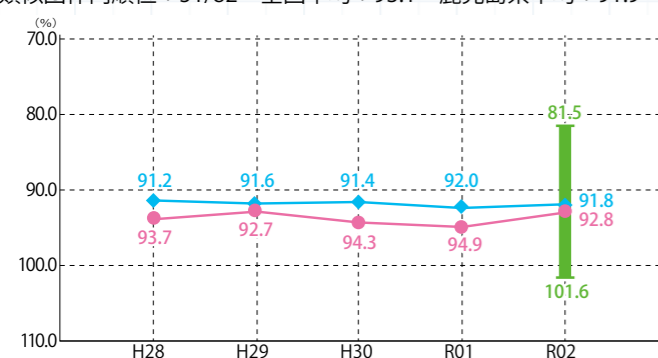
※「人件費・物件費」とは、人件費、物件費および維持補修費の合計です。ただし人件費には事業費支弁人件費(注)を含み、退職金は含みません。

(注)建設事業などに従事した職員の給与のこと

⑦ 財政構造の弾力性

経常収支比率 [92.8%]

類似団体内順位：51/82 全国平均：93.1 鹿児島県平均：91.9



【経常収支比率】

地方税など毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費のように毎年度経常的に支出される経費に充てられたものの占める割合を示すものです。

この数値が低いほど、臨時的な経費に充てられる財源に余裕があり、弾力的な財政運営が行えるといえます。

◎分析と対応

臨時財政対策債の増や新型コロナウイルス感染症の影響による経常経費の減があったため、前年度比で2.1ポイント改善していますが、類似団体平均を1.0ポイント上回っています。今後においても、人件費・物件費・維持補修費などの縮減に加え、「公有財産活用方針」に基づいた施設の統廃合、管理経費の縮減に努め、経常経費の削減に努めます。

令和2年度普通会計決算

市町村財政比較分析表

市町村財政比較分析表は、類似団体(※)との比較分析が容易にできるように、7つの財政指標について、類似団体内平均値を100としたときの本市の指数を表しています。

なお、県内・全国の市町村の状況は、県や総務省のホームページにも掲載されますので、ご参照ください。
※国は全国の市町村を、人口規模や産業構造などで35のグループに分けています。類似団体とは、その中で同じグループに属する自治体のことをいいます。

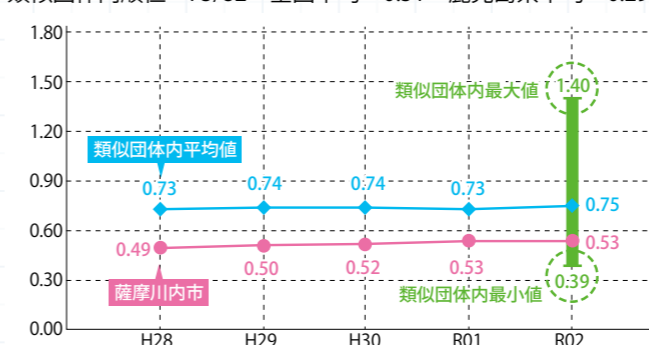
人口(R3.1.1現在)	93,581人
面積(R3.1.1現在)	682.92km ²
歳入総額	70,457,000千円
歳出総額	67,315,471千円
実質収支	2,173,878千円
標準財政規模	28,370,968千円
地方債現在高	38,179,274千円

実質赤字比率	-%
連結実質赤字比率	-%
実質公債費比率	7.9%
将来負担比率	0.3%
市町村類型(年度ごと)	H28：Ⅱ-2、H29：Ⅱ-2、 H30：Ⅱ-2、R01：Ⅱ-2、 R02：Ⅱ-2

① 財政力

財政力指数 [0.53]

類似団体内順位：75/82 全国平均：0.51 鹿児島県平均：0.29



【財政力指数】

地方自治体の財政力を示す指数で、標準的な行政活動を行うために必要な経費に対する、標準的に収入しうると考えられる税収の割合を示すものです。

この指数が高いほど、財源に余裕があるといえます。

◎分析と対応

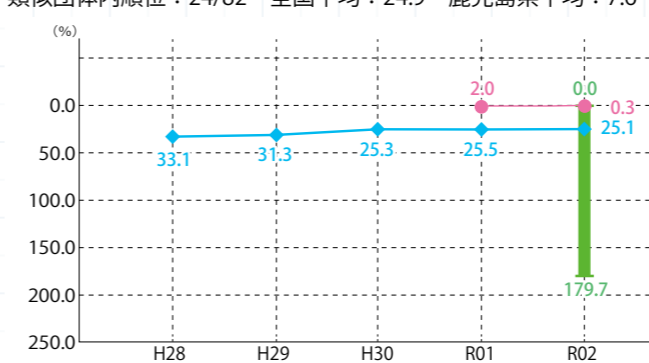
市税の増加により基準財政収入額は前年度と比べ増加したものの、公債費算入などの基準財政需要額が大きいことから、類似団体内の平均値を下回っています。

今後においても、市内経済の活性化を図り税収増に努めます。

② 将来負担の状況

将来負担比率 [0.3%]

類似団体内順位：24/82 全国平均：24.9 鹿児島県平均：7.6



【将来負担比率】

市債など、将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を、毎年度経常的に収入される財源に対する比率で指標化したものです。

この比率が高いほど、将来的に財政を圧迫する可能性が高いといえます。

◎分析と対応

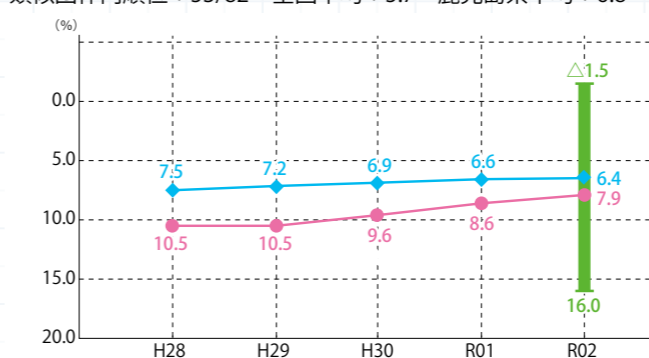
前年度と比較し、地方債現在高の減少(△6.8億円)、債務負担行為に基づく支出予定額の減(△1.0億円)、職員数の減に伴う退職手当見込額の減(△2.0億円)などにより将来負担額は減少していますが、依然として将来負担額が充当可能財源を上回ったため、将来負担率は0.3%となりました。

今後においても、後世への負担を少しでも軽減するよう、事業の選択と集中を強化しながら、引き続き健全で安定的な財政運営を推進します。

③ 公債費負担の状況

実質公債費比率 [7.9%]

類似団体内順位：53/82 全国平均：5.7 鹿児島県平均：6.8



【実質公債費比率】

毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費(地方債の元利償還などに要する経費)や、公債費に準ずるもの(公営企業に対する繰出金など)を含めた実質的な公債費相当額に充てられたものの占める割合を示すものです。

この比率が一定の数値を超えると、地方債の発行が制限されます。

◎分析と対応

交付税措置率が高い有利な市債の活用には努めていますが、前年度から公債費は0.7億円増加し、類似団体内平均値を1.5ポイント上回っています。

今後においても借入額抑制の方針を堅持しつつ、事業の選択と集中を強化しながら、公債費の抑制を図るとともに、地方債の活用にあたっては、交付税措置率が高い有利なものとなるよう努めます。

問合先／市民活動センター
（SSプラザせんだい内）☎(25)6210



生涯学習のマスコット「マナビィ」

「まちづくり出前講座」とは？

市職員が、市民の皆さまのもとへお伺いし、それぞれの担当分野（業務）における行政情報などについて必要に応じて意見交換などを行いながら、説明します。

まちづくりや防災などさまざまな分野からご希望の講座を選び、申し込みください。

対象は？

市内に居住、勤務または在学している方で、おおむね10人以上で構成している団体・グループなどが対象です。

※出前講座は、生涯学習の支援の一環として開催しているため、陳情や特定の企業の利益につながるものは実施できません。

日時や会場の手配などは？

平日・休日問わず、9時から21時までの間で、2時間以内とします。

開催する会場の確保（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

ロナウイルス感染症対策を含む）、参加者への周知などは、利用される側で全て手配してください。

※開催場所は市内に限ります。

利用方法は？

団体などの代表者は、原則として、開催予定日の10日前までに希望する講座を選び、「講座実施申請書」を申込先へ提出してください。

※講座実施申請書は、市民活動センター（SSプラザせんだい）に備え付けまたは市ホームページ上に掲載の申請書をご利用ください。

※講師となる市職員の業務の都合などで、開催日程などが希望に沿えない場合があります。ご了承ください。

講師料は？

無料です。

なお、別途必要な材料などは、利用される側で事前に用意いただく必要があります。

講座番号	講座名	講座概要	申込先
14	避難行動要支援者に対する地域での支援体制づくりについて	自主避難が困難な方（避難行動要支援者）に対する地域（自治会など）での支援体制づくりの重要性について説明し、意見交換しながら地域の実情に応じた取り組み方法などを提案します。	障害・社会福祉課 企画総務・社会福祉G (内線 2171)
15	認知症サポーター養成講座	認知症に対する基礎知識や認知症の人との接し方などについて説明し、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人や家族に対して支援者となる「認知症サポーター」を養成します。	高齢・介護福祉課包括支援G (内線 2676)
16	介護保険制度について	介護保険制度の概要やサービスなどについて説明します。	高齢・介護福祉課 介護指導G(内線 2622)
17	健康な体づくりについて	大切にしたい体の仕組みを学んで、健康な体づくりを一緒に考えます。	すこやかふれあいプラザ ☎(22)8811
18	医療保険制度について	国民健康保険および後期高齢者医療制度について、保険制度や医療制度の概要、医療費の適正化、高額医療、健康診査などを説明します。	保険年金課 国保G(内線 2841) 高齢者医療G(内線 2831)
19	国民年金の手続きについて	国民年金に関する届出種類と手続き方法について、資格取得届や種別変更届、免除申請、納付相談、死亡に伴う届出(未支給年金申請・死亡届・死亡一時金)、氏名住所変更などを説明します。	保険年金課国民年金G (内線 2811)
20	そうだったのか！ 「農林漁業の六次産業化」講座	六次産業化とは、農林漁業者が自らの生産物に新たな付加価値を生み出し、販売まで行う取り組み(第1次産業×第2次産業×第3次産業)です。市の取り組み策などについて、実際に開発された商品などを交えながら紹介します。	農業政策課 企画総務・六次化G (内線 4212)
21	鳥獣被害対策講座	イノシシ、シカ、小動物などによる農作物被害の防止対策として、鳥獣のことを知り、自分でできる対策から地域ぐるみで取り組む対策まで、映像を交えて説明します。	農業政策課農政G (内線 4222)
22	地域公共交通講座	バス・電車・船などの乗り方、便利で得する利用方法など、本市の地域公共交通についてご紹介します。	経済政策課 企画総務・施設交通G (内線 5746)
23	次世代エネルギー講座	本市の次世代エネルギーを活用したまちづくりについて説明します。	産業戦略課産業G (内線 5763)
24	燃ゆる感動がこしま国体について	本市で開催される正式競技「ホッケー」「バスケットボール」「ウエイトリフティング」「軟式野球」「空手道」、デモンストレーションスポーツの「バウンドテニス」の紹介や、本市の取り組みについて説明します。	国体推進課国体企画G (内線 6431・6432)
25	国体ダンス ～みんなで楽しくダンス～	「燃ゆる感動がこしま国体」のPR事業の1つである国体ダンス「ゆめ～KIBAIYANSE～」を楽しくマスターする講座です。	
26	今後の都市のあり方講座	今後の人口減少や少子高齢化などの社会情勢下において、誰にとっても暮らしやすいまちであるための都市のあり方について、市の方針などを説明します。	都市整備課都市計画・景観G (内線 3421)
27	木造住宅の耐震診断・改修講座	昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化を推進するため、耐震診断と耐震改修工事の必要性や補助制度について説明します。	建築住宅課建築指導G (内線 3643)
28	公民館事業講座	公民館施設の紹介や公民館事業として取り組んでいる市民大学・自主学級などの学習内容・利用方法などについて説明します。	社会教育課社会教育G ☎(22)7251
29	家庭教育事業講座	子育てに悩みを抱えている家族のための学習会や子育て中の家族を見守り支えていく「子育てサポーター」を養成する講座です。	
30	青少年の健全育成講座	青少年を取り巻く環境や青少年の健全育成を図っていく上での方策、心構えについて説明します。	社会教育課青少年教育G ☎(22)7251
31	郷土の文化財を知る講座	各地域において守り伝えられてきた市民共有の貴重な「地域の宝」である文化財などについて、一緒に学習しながら紹介します。	社会教育課文化財G ☎(22)7251
32	住宅防火安全対策について	ご家庭での火災を防ぐポイントや、過去に発生した火災事例や原因などを紹介し、住宅防火安全対策について説明します。	消防局予防課 予防調査係 危険物係 ☎(22)0135
33	「うるおいのまち薩摩川内」 下水道講座	生活排水を適正に処理する下水道の役割や仕組み、下水道の接続方法、工事費用、受益者負担金、下水道使用料、接続補助金、無利子貸付制度、合併処理浄化槽の補助金制度などについて説明します。	下水道室下水道G ☎(20)8503
34	選挙出前講座	選挙権の歴史や選挙クイズ、模擬投票を通して、選挙の仕組みについて学ぶ講座です。	選挙管理委員会事務局選挙G (内線 1421)

講座番号	講座名	講座概要	申込先
1	第2次薩摩川内市総合計画 (総合戦略)について	市の総合的な市政経営の指針である第2次総合計画(総合戦略)を基に、これからのまちづくりについて説明します。	企画政策課 政策G (内線 4831)
2	SDGs(持続可能な開発目標)の 推進について	SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すための国際目標です。一緒に学習しながら、持続可能で魅力あるまちづくりについて説明します。	企画政策課 SDGs・開発G (内線 4821)
3	地域コミュニティ、自治会、 NPOなどの共生・協働の仕組み 講座	地域コミュニティ、自治会、NPOなどの共生・協働の仕組みについて説明します。	コミュニティ課コミュニティG (内線 4614) 市民活動センター ☎(25)6210
4	生涯学習出前講座	薩摩川内市生涯学習推進計画に基づき、生涯学習の概要、推進について説明します。	
5	男女共同参画講座	地域や学校、事業所などで男女共同参画社会の実現(ジェンダー平等)を推進するための講座です。基礎的な知識や市の取り組みなどを紹介します。	コミュニティ課 生涯学習・ひとみらい政策G (内線 4741)
6	薩摩川内市の財政状況講座	令和4年度当初予算を中心に、本市の財政状況について説明します。	財政課財政G (内線 4731)
7	行政改革について	本市の行政改革に関するこれまでの実績や現在の取り組み方針、取り組み状況などについて説明します。	行政経営課 行政改革・文書統計G (内線 6121)
8	自主防災組織結成講座	自治会または地区コミュニティ協議会単位で結成する自主防災組織に関し、組織の必要性や防災活動の進め方、災害時の応急活動の進め方などについて説明します。	
9	原子力防災について	自治会または地区コミュニティ協議会などに、原子力防災について説明します。	防災安全課防災安全G (内線 4910)
10	一般防災に関する出前講座	大雨・台風・地震への備えや、日頃からの非常持出品の準備などについて説明します。	
11	ごみ分別出前講座	自治会または地区コミュニティ協議会などに、家庭ごみの分別方法や各種補助制度について説明します。	環境課廃棄物政策G (内線 4341)
12	住民税のしくみ	市県民税、所得税の概要や制度について説明します。	税務課市民税G (内線 2231)
13	固定資産税のしくみ	固定資産税(土地・家屋・償却資産)の概要や制度について説明します。	税務課 土地G(内線 2243) 家屋G(内線 2251)